

第1回横幹連合総合シンポジウムサンプル原稿

○大倉典子 (芝浦工業大学) 原辰次 (東京大学) 鈴木久敏 (筑波大学)

The Sample of Manuscript for 1st Transdisciplinary Federation of Science and Technology Symposium

* M. Ohkura (Shibaura Institute of Technology), S. Hara (University of Tokyo) and
H. Suzuki (University of Tsukuba)

Abstract— This document describes the information for authors such as paper submission and the style of manuscript. PDF or WORD manuscripts are acceptable. The manuscripts should be uploaded on the J-stage homepage. This document is a template file for a paper, although it is not necessary to strictly follow this format.

Index terms— Paper submission, style of manuscript, quantum filtering, stochastic nonlinear control, Lyapunov functions

1 論文原稿の執筆

第1回横幹連合総合シンポジウムでは、論文原稿をPDFファイルもしくはWordファイルをご用意いただき、各講演者から各オーガナイザー宛に電子メールにてファイルを送信していただきます。オーガナイザーの指定した期日までにご送付ください。オーガナイザーは各講演者から提出された原稿ファイルを2006年10月27日(金)までに取りまとめて提出することになっております。使用言語は日本語または英語です。

2 テンプレートファイルのダウンロード

第1回横幹連合総合シンポジウムのホームページからテンプレートファイルをダウンロードします。pLaTeX2.09またはpLaTeX2eを使用される場合は、sympo2006.styとsample.texとfig1.psの3つのファイルをダウンロードしてください。sample.texはpLaTeX2eとpLaTeX2.09のどちらでもコンパイルすることができます。

Microsoft Wordを使用される場合は、sympo2006.docをダウンロードし、原稿を作成してください。

それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、sympo2006.pdfをダウンロードし、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

3 原稿の体裁

原稿はA4版で2, 4いずれかの偶数ページです。オーガナイザーにお送りいただくファイル規模の制限はおよそ1MBといたします。

3.1 全体の体裁

A4用紙の(US Letterは不可)、縦250mm、横170mmの枠内に収まるようにしてください。余白は、上20mm、下27mm、左20mm、右20mmとします。活字の大きさは、日本語タイトル16ポイント、著者名、英文タイトルと著者名12ポイント、章タイトル11ポイント、節タイトル10ポイント、本文の活字10ポイントを目安としてください。原稿は、

- ・和文講演題目
- ・和文著者名(登壇者に○印)と著者所属
- ・英文講演題目
- ・英文著者名(登壇者に*印)と英文著者所属
- ・英文アブストラクト(100~150ワード程度)
- ・Index terms(英語)最大5つ

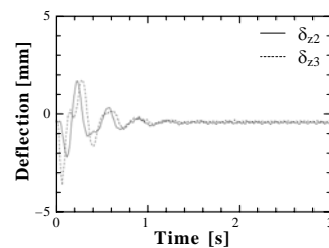


Fig. 1: A sample figure.

- ・本文, 参考文献

の順に書いてください。Index termsまでを1段組、本文・参考文献を2段組にしてください。

3.2 図と表

図と表は、Fig. 1, Table 1のように番号を振り(Fig. 1参照)、図説、図中の説明文は英文で記入してください。本文で引用する場合も「Fig. 1に示す」などのようにFig.とTableを使用してください。

図や表中の文字は小さくなりすぎないように気をつけてください。PDF原稿を作成する際、図の画質が落ちないように注意してください。Microsoft Wordなどで原稿を作成する際、JPEG画像を貼り付けると、一度圧縮されている画像が再圧縮されるので画像が劣化するようです。貼り付ける画像は、画質の良い(圧縮率の低い)画像を用いるか圧縮しない画像フォーマットを選ぶなど、最終的なPDFファイルにおいて画像が劣化しないよう注意してください。

3.3 参考文献

文献の引用は本文中に¹⁾のように書き、本文の最後にまとめて記述します。次のフォーマットを推奨します。

- (a) 雑誌論文の場合
番号) 著者, 論文題目, 雑誌名, 巻(太字)-号, 始ページ/終ページ(年)
- (b) 単行本の場合
番号) 著者, 書名, 始ページ/終ページ, 発行所, (発行年)

参考文献

- 1) <http://www.trafst.jp/symposium2006/index.html>
- 2) 大倉典子, 原辰次, 鈴木久敏, 第1回横幹連合コンファレンスサンプル原稿, 第1回横幹連合コンファレンス予稿集, 1/4 (2005)